



2020年8月6日

各 位

会社名 日本製紙株式会社
代表者名 代表取締役社長 野沢 徹
(コード番号: 3863 東証第1部)
問合せ先 経 理 部 長 的 場 宏 充
(電話番号03-6665-1012)

2021年3月期の業績予想に関するお知らせ

2020年5月15日に公表いたしました「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の連結業績予想について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	1,000,000	20,000	12,000	3,000	25.97
増 減 額 (B-A)	—	—	—	—	—
増 減 率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	1,043,912	35,048	30,524	14,212	122.89

2. 公表の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づき、上記のとおり公表いたします。

3. 業績予想の前提条件

新型コロナウイルス感染症の影響といたしまして、洋紙では大幅に減少している新聞用紙・印刷用紙の需要が、当第1四半期を底に緩やかに回復を始めると見込んでおります。家庭紙では前年度末の需要増加による反動で減少しているティッシュペーパー・トイレットロールなどの需要は、当第1四半期を底に回復を始め、下半期には例年並みの水準まで回復すると見込んでおります。

また、豪州・ニュージーランドでの板紙パッケージ事業の譲受けに係る印紙税など一過性の取得関連費用約5,500百万円を主に2020年度第2四半期に計上することを見込んでおります。

為替レート、原材料価格については概ね足元の水準が継続するものと見込んでおります。

(注) 上記の予想につきましては現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上